

特定医療法人財団同愛会

博愛病院

博愛すまいるん♪

Enjoy Smile Up!



新病院長ごあいさつ

博愛探検隊「外科外来・整形外科外来の紹介」

教えてドクター「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」

すまいるニュース・お知らせ

外来診療担当医師一覧表



病院長就任の

ごあいさつ

ひつだ ゆたか
櫃田 豊



ACCCA and A

この度、10月1日より病院長に就任いたしました櫃田豊と申します。私は1980年に鳥取大学を卒業しました。同附属病院で20年間程呼吸器疾患診療に従事した後、2005年からは日野病院で約10年間病院長職を務めました。医師数に限りがあった日野病院では、現場の比重が高く、呼吸器疾患のみならず広く内科疾患を対象とするプライマリ・ケアを実践してきました。

2025年問題と

その対応

さて、ご承知のように、800万人とも言われる団塊世代が75歳となる2025年には高齢患者さんが激増します。米子市でも医療需要は現在の1.09倍、

介護需要は1.36倍になると予想されています。いわゆる2025年問題です。

この社会保障上の深刻な問題乗り越えるための切り札として、国は在宅医療、在宅介護の普及を推進しています。そして現在、それらを実現するための重要な2つの政策、地域医療構想と地域包括ケアシステムの構築が進行中です。近い将来、患者さんは入院中は高度急性期↓急性期↓回復期↓慢性期と4つの医療機能をスムーズに移行し、退院後には在宅で生活支援・医療・介護・予防などが一体的に提供されるようになると期待されています。

現在、鳥取県でも地域医療構想調整会議などで二次医療圏ごとに医療機能の再編が議論されていますが、どのような医療機能を分担するかは各医療機関の自主性に任せられています。鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病

院、米子医療センターが急性期医療を志向する中、博愛病院は従来の総合病院から医療と介護を組み合わせたケアミックス病院への道を選択しました。

ACCCAとは

博愛病院がケアミックス病院として米子市民から選ばれる病院であり続けるためにはどうすればよいのでしょうか。少なくとも、その条件は他の急性期病院では異なると考えられます。私が考える住民から選ばれるケアミックス病院の条件は、ACCCAと呼ばれる米国医学研究所(Institute of Medicine)が提唱したプライマリ・ケアの5つの理念と一致します。

すなわち、Accessibility(近接性)・・・近隣の住民が(地理的)・いつでも(時間的)・気軽に(精神的)受診できる、Comprehensiveness(包括

性)・・・性別や年齢、臓器にとらわれることなく診療を行い、病気の治療のみでなく、予防(ワクチン接種など)、リハビリテーションにも取り組む、Coordination(協調性)・・・チーム医療を展開し、他の医療機関と連携したり社会資源を適宜バランスよく用いるとともに、地域住民と協力して健康問題に取り組む、Continuity(継続性)・・・病気の時も健康な時も、病院あるいは主治医としてゆりかごから墓場まで患者さんに関与し続ける、Accountability(責任性)・・・充分な説明の中で患者さんの意思疎通を行い、診療内容の質の維持、見直しはもちろんのこと、生涯教育や後進育成についても責任をもつ、です。

もうひとつのA

さらに、私としては、これ

らACCCAにもう一つのAを付け加えたいと思います。それは、Adaptability(適応性)です。前述した2025年問題は医療提供体制に大きな改革をもたらすだけでなく、医療に携わる者全てに医療モデルへの意識変革をも求めています。すなわち、「治療モデル」から「生活モデル」への移行です。「生活モデル」とは、病気を治そうと努力するより、病気を障害と捉え、残された機



能をできる限り活かそうとする考えです。このような医療提供体制や医療モデルの変化に適応するためには、組織を変え、自分自身を変えるしかありません。「生き残る種というのは、最も強いものでもなければ、最も知的なものでもない。最も変化に適応できる種が生き残るのだ」というダーウィンの言葉を思い浮かべながら、この激動の時代を乗り切っていくと考えています。

外科外来と 整形外科外来を 探検だ！



ある日の外科外来スタッフ



消化器外科

◎専門医、指導医による消化器がんの手術や術後の抗がん剤治療を行っています。
◎また、胆石や早期胃がん、大腸がんの腹腔鏡下手術も導入し、患者さんのニーズに応えています。
◎注射による痔の治療（ジオン注射）や直腸脱の治療も行っています。



乳腺センター

◎日本乳癌学会認定の専門医、指導医二人体制による乳腺疾患の専門外来です。
◎乳がん検診で精査が必要な方、乳房にしこりを触れる方などの精査を行っています。



ストーマ外来

◎毎週月曜日14時〜完全予約制で外来看護師が行っています。
◎手術後退院されて初めての受診の際には、病棟スタッフとともに診察させて頂きます。

がん相談

◎毎週金曜日14時〜完全予約制でがん化学療法看護認定看護師・緩和ケア認定看護師、乳がん認定看護師が対応させて頂きます。
◎がんと診断された方、治療中の方など、ご心配なことなどをご相談ください。



整形外科外来の 紹介

整形外科一般

一般整形外科診療としては、乳児・小児の先天性疾患や発育期の骨関節疾患、青壮年期の脊椎・関節疾患及び外傷や骨折などの保存的・観血的治療を行っています。

昨今の人口高齢化

を反映し、当科を受診される方も腰痛・膝痛などの「変性疾患」が原因である場合が多く見受けられます。また、女性に関しては「骨粗鬆症」を基盤にした種々の病態のほか、骨粗鬆症関連骨折といわれる四肢・脊椎の骨折が増加する傾向にあります。



ある日の整形外科外来スタッフ

主な疾患

変形性関節症（膝・股・足など）、変形性腰椎症、腰椎間板ヘルニア、変形性頸椎症、関節リウマチ、骨粗鬆症、骨粗鬆症関連骨折（大腿骨近位部・上腕骨近位部・橈骨遠位端など）、小児・発育期の骨折、小児股関節脱臼など

人工関節センター

関節軟骨がすり減ってくると痛みが強くなり、関節が変性し動きが悪くなったり、歩きにくくなってきました。このように障害の起こった関節を特殊な金属やプラスチックでできた人工関節に入れ替えることで、痛みがなくなり、歩行能力が改善されます。このような手術を人工関節置換術といい、当センターでは膝関節、股関節を中心に手術を実施しています。

手術、リハビリテーションなど、患者さんの積極的な治療への取り組みにより大きな効果が期待できます。



骨粗鬆症センター

骨粗鬆症により「背骨」「太ももの付け根」を骨折すると、生活機能が低下し、「寝たきり」の原因ともなります。そのために日頃から「骨の健康管理」に関心をもち、早期に診断し、適切な治療を受けることが大切です。

平成15年に当センターを開設し、骨粗鬆症の診断と治療の普及に努め、現在では通院患者は年間約300症例と次第に増加し、鳥取県西部の約50の医院と連携治療を行っています。高齢者骨折の予防・治療には骨粗鬆症の診断、正確な骨密度の測定、骨代謝のモニタリングが必要不可欠ですが、患者さんの利便性を考えて、「かかりつけ医の先生」に処方をお願いします。「連携治療」を行っています。



教えてドクター

教えてドクターでは、
当院の医師が
病気をわかりやすく
解説します。

今回のテーマは、いつの間にか症状が
進行していく実は怖い病気、

「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」です。

①COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは どんな病気か

COPDの原因のほとんどは喫煙です。タバコなどの有害物質の吸入によって気管支や肺に慢性的に炎症が起きて空気の流れが制限され、ついには肺胞が破壊されて肺気腫となることによって、呼吸がしにくくなる病気です。喫煙開始年齢が若いほど、1日の喫煙本数が多いほどCOPDにな



りやすく、進行しやすいといわれています。有名人では歌手の和田アキ子さんや落語家の桂歌丸さんが患っていることを公表しています。

②COPDの症状

ゆっくりと進行することが特徴で、20年以上喫煙歴のある人の10〜15%が発病することが知られています。おもな症状は慢性的のせき・たん・体を動かしたときの息切れですが、肺の破壊が進行するまで出現しないことも少なくありません。進行すると少し動いただけでも息がきれ、トイレや入浴などの日常生活もままならなくなります。さらに進行すると呼吸不全や心不全をおこし、命に関わってきます。また、肺だけでなく全身に影響を及ぼし、心血管疾患・骨粗鬆症・糖尿病・うつ・筋力低下などを併発しやすいこともわかっています。

慢性的のせき・たん
体を動かしたときの
息切れには要注意!!



③COPDの診断と検査

診断には胸部レントゲン、胸部CT、呼吸機能検査を行います。

胸部レントゲンやCTでは肺気腫といって肺胞の破壊の程度をみることが出来ます。特に高分解能CTでは炎症で肥厚した気道壁や肺胞の破壊された病変を細かく描出することが出来ます。



呼吸機能検査では息を吸ったリ吐いたりすることで肺活量と息の通り具合を調べます。COPDの患者さんでは息が吐き出しにくくなっているため、1秒間で吐き出せる息の量を調べます。その値が年齢・性別・体格が同じ日本人の標準的な値よりもどれだけ低いかを評価します。また、酸素と二酸化炭素の交換を行う肺胞が破壊され、肺毛細血管も破壊されるため、ガス交換の能力が落ちていますが、この程度も評価することが出来ます。

COPDの重症度は呼吸機能

に加えて労作時の呼吸困難などの症状や運動能力低下の程度（速足で歩いたときだけ呼吸困難がおこるのか、安静にしているても呼吸困難があるのか）、併存症の有無、増悪の頻度などから総合的に判定されます。

④COPDの治療と経過

今のところ、COPDを根本的になおし、破壊された肺胞をもとの状態に戻す治療方法はありません。少しでも早い段階で適切な治療を開始することが重要です。治療の第一歩は禁煙です。肺機能は年齢とともに低下していきますが、喫煙者では非喫煙者に比べて低下速度が大きいことがわかっています。禁煙することでCOPD発症の可能性を減らし、肺機能低下を遅くすることができます。またお金もかかりません。

薬物療法としては炎症によって収縮した気管支をひろげる気管支拡張薬（ β_2 刺激薬や抗コリン剤）が中心となります。呼吸器系に直接作用し、全身への副作用が少ない吸入療法が基本となりますが、去痰のための喀痰調整薬やステロイド、抗生物質

が使用されることもあります。

呼吸リハビリテーションは運動療法、リラクゼーション、胸郭可動域訓練、呼吸訓練、排痰法などがあり、可能な限り呼吸機能や運動能力を回復あるいは維持させ、日常生活が自立できるように支援していくためのものです。

高度の肺機能の低下により普通の呼吸では十分に酸素を取り込めなくなるような重症例では在宅酸素療法が行われることがあります。自宅でも持続的に酸素を吸入することで生活の質や生存率が改善されます。導入については医学的な条件だけでなく、患者さん本人の自己管理能力や住居、家族構成、生活パターンなど様々な条件を考慮する必要がありますがあるので、主治医とよく話し合うことが大事です。



携帯用酸素ボンベを持っている男性

⑤特に注意する点

最も気をつけなくてはならないのが「急性増悪」といわれる状態です。呼吸困難、せきや痰の増加、喘鳴が悪化した状態で、放っておくと命に関わる可能性があります。原因としては呼吸器感染症や大気汚染をきっかけとすることが知られていますが、原因がはつきりしないことも多いです。急性増悪の予防には歯磨きやうがい、手洗い、入浴など清潔にしましょう。また、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種など予防対策も効果的です。特に肺炎球菌については65歳の方を対象にした定期接種が各自治体で勧められています。

教えてドクター プロフィール

内科医員（呼吸器内科）
西井静香 医師

新潟県新潟市出身。平成19年鳥取大学医学部卒業。2年間の臨床研修プログラム修了後、鳥取大学医学部呼吸器膠原病内科入局。平成26年鳥取大学博士課程医学系研究科修了。平成28年10月より博愛病院に勤務。日本内科学会認定内科医。趣味はランニング。



はくあいミニコンサートのご案内

日時：平成28年12月20日（火）16時00分～30分程度
場所：博愛病院本館1階中央ロビー
内容：恵み会の皆様による琴の演奏

「はくあいミニコンサート」は、病院に入院中の患者さんや来院されている方など、地域の皆様が集い楽しむことを目的に開催しています。

無料

お気軽にお越しください。



前回の様子

このミニコンサートで演奏をしていただける方を募集しています。

日頃より趣味やサークル活動等に励んでおられる地域のみなさまの発表の場としてぜひご活用ください。

詳しくは、TEL (0859) 29-1100 (代)
博愛病院広報担当をお呼び出してください。

院外健康講座のご案内

日時：平成29年1月26日（木）13時30分～14時30分
テーマ：がんはなぜこわいのか？（がんの転移と再発）
がんになっても自分らしく過ごすために

講師：博愛病院ドック健診センター長 前田迪郎医師
博愛病院がん化学療法看護認定看護師 竹仲美奈子看護師
場所：ふれあいの里 4階 中会議室
鳥取県米子市錦町1丁目139-3

無料

お気軽にお越しください。

博愛病院では地域の皆様に病気の予防や早期発見・早期治療の大切さを再確認していただくために、4か月に1回のペースで健康講座を開催しています。



おしかけ出前講座注文受付中!!

お問い合わせ：博愛病院広報担当

TEL：(0859) 29-1100 (代)

広報担当をお呼び出し下さい。

がんや認知症、生活習慣病やリハビリ、薬や医療制度など、42種類のメニューの中からご希望の講座をお選びください。参加人数が10名程度お集まりいただければ、会場までおしかけて講座を開催します。



出前メニューの講座はすべて無料です。
お気軽にご注文ください。

★メニューの詳細についてはお問い合わせください。

※開催地区は米子市内および近隣市町村です。

※ご希望日の1か月前までに、ご注文をお願いします。

※日程は平日（月～金）9時00分～16時00分の間で調整します。



院内接遇リーダー育成研修会を開催しました

平成28年6月

『接遇日本一の病院を目指す』ため、接遇リーダー育成研修会を開催しました。
博愛病院が地域に貢献するためには、まずは、博愛病院が地域の皆様方から選んでいただける病院でなければ、その役割を果たすことはできません。そのため、接遇（ホスピタリティ）の向上は欠かせない要素と考えます。
まずは全部署から選出された、接遇向上活動のキーパーソンとなるリーダーズタッフを対象に、接遇インストラクターの

看護部長、分倉千鶴子が講師となり、3回シリーズでの講義と実技指導を行いました。
今後は、リーダーズタッフが、各部署において接遇のモデル役となり、日々の業務の中で他のスタッフに対して接遇に関する事項について指導等を行ってまいります。
院内の接遇レベルの向上を図り、「接遇日本一の病院を目指す」という目標を達成するために取り組んでまいります。
地域の皆様からも、引き続きご指導のほど、よろしくお願い致します。



消化器内視鏡技師

平成28年7月

消化器内視鏡技師が3名体制になりました。
消化器内視鏡技師の資格習得には、指導施設において2年以上の実務経験と、日本消化器内視鏡学会の資格試験により認定を受けることが必要です。

当院の内視鏡室では3名の技師が在籍しております。業務は消化器内視鏡検査・治療の介助および補助業務に携わり、日々進歩する内視鏡診療には必要な存在となっています。患者さんには、より安全で安心な検査・治療を受けていただくために、日々知識の習得・技術の向上に努めています。

内視鏡検査・治療において何か困ったことや相談したいことがあれば、気軽に声をかけていただけたらと思います。



松下鈴代 野口政江 坂田和美
平成14年取得 平成28年取得 平成24年取得

鳥取県西部医師会連絡協議会を開催しました

平成28年7月

この協議会は、地域の各医療機関が情報交換し、相互協力を得てネットワークを構築し、地域のみなさまへ充実した医療を提供することを目的として、毎年開催されています。

地域の開業医、鳥取大学医学部附属病院から50名程度、博愛病院から各部署の代表者60名程度、約110名が参加し、充実した連絡協議会になりました。

鳥取県西部地域の皆様、安心して暮らしていただけるよう、引き続き取り組みます。



消火避難訓練実施

平成28年7月

夜間の出火を想定し、消火・避難訓練を実施しました。
10月には鳥取県中部を襲った震度6の地震がありました。災害とは、いつ、どのタイミングで襲いかかって来るかわかりません。
博愛病院では、いつ、どのタイミングで災害が起きても、安全に入院患者さんを避難誘導できるよう、年に2回、消火・避難訓練を行っております。

今回は、病院内で働くスタッフが少ない時間帯の夜間に火災が発生したことを想定し、いかに少ない人数で、いかに早く入院患者さんを安全な場所に避難させるかを目的に行いました。
訓練を実施したことで、問題点も多く見つかりました。その問題点を1つずつ改善していき、安心して入院生活を送っていただけのように、引き続き訓練を重ねてまいります。



入院セットレンタルを導入しました

平成28年7月

入院セットレンタルとは、患者さんが入院時に必要とされるタオル・衣類・日用品等を、契約業者と直接任意契約にて、一日単位でレンタルするシステムのことです。

入院セットレンタルに含まれる衣類等はすべて契約業者提携工場において、高熱滅菌・滅菌洗浄するため、患者さんはいつも清潔で安全な商品をご利用いただけます。

それによって、患者さんは、手ぶらでも入院が可能となり、またご家族の洗濯の手間などが大きく軽減されます。必要に応じてご利用ください。



きれいな病院守り隊

平成28年8月

今回で、第6回目の活動となりました。院内清掃ボランティア活動「きれいな病院守り隊」8月は、内科外来待合のソファを中心に、きれいな病院守り隊有志のみなさんが集まり、心を込めて清掃活動を行いました。

今後も定期的に活動を行っていくことで、患者さんが気持ちよく病院をご利用いただけるよう取り組んでまいります。



診療科目			月	火	水	木	金
内 科	午前診	1 診	ベースメーカー外来 田中 保則 (循環器)	田中 保則 (循環器)	●鳥大医師(第2,4) (循環器)	田中 保則 (循環器)	田中 保則 (循環器)
		2 診	大谷 正史 (消化器)	浜本 哲郎 (消化器)	大谷 正史 (消化器)		浜本 哲郎 (消化器)
		3 診	足立 晶子 (神経内科)	●鳥大医師(隔週) (神経内科)	足立 晶子 (神経内科)	安井 建一 (神経内科)	安井 建一 (神経内科)
		4 診	西井 静香 (呼吸器)	松本 栄二 (肝臓)	堀 立明 (肝臓)	松本 栄二 (肝臓)	堀 立明 (肝臓)
		5 診	櫃田 豊 (呼吸器)			櫃田 豊 (呼吸器)	
		6 診	●鳥大医師 (循環器)	●鳥大医師 (診療:9時30分~) (呼吸器)	重白 啓司 (呼吸器)	●鳥大医師 (呼吸器)	重白 啓司 (呼吸器)
		7 診		●鳥大医師(第1,3) (内分泌)			
		生活習慣病 センター	生活習慣病外来 竹内 龍男 (糖尿病)	竹内 龍男 (糖尿病)	●鳥大医師(第1,3) (内分泌)	竹内 龍男 (糖尿病)	
	午後診	予約再来					
小 児 科	午前診 (脳神経小児科)	1 診	原田 友一郎	原田／福永 交代	原田／福永 交代	原田／福永 交代	福永 真紀
		2 診	福永 真紀		原田／福永 交代		原田 友一郎
		3 診				●鳥大医師(第1,3,5) (診療:9時~12時)	
	午後診	福永 真紀	原田／福永 交代		原田／福永 交代	原田 友一郎	
	予防接種・乳児健診 ※受付は各30分前~	予防接種 (13時30分~)	予防接種 (13時30分~)	乳児健診(13時30分~) 予防接種(14時~、15時30分~)	予防接種 (13時30分~)		
	小児リハビリ テーション	原田 友一郎 (13時30分~14時)				原田 友一郎 (13時30分~14時30分)	
	急患診療(18~22時)		原田／福永 交代		原田／福永 交代		
外 科	午前診	1 診	近藤 亮	安宅 正幸	角/近藤/安宅/竹本 交代	角 賢一	竹本 大樹
		3 診	安宅 正幸	竹本 大樹	工藤 浩史(乳腺)	近藤 亮	角 賢一
		胸部外科 (内科7診)					●鳥大医師(第2,4) (診療:9時~)
		血管外科 (内科7診)		●鳥大医師(第2,4) (診療:9時~ (受付:11時30分まで)			
	午後診	予約再来					
	乳腺センター(14時~16時)		角 賢一	工藤 浩史	工藤 浩史		
整形外科	午前診	1 診	奥野 誠	中村 達彦	奥野 誠	中村 達彦	奥野 誠
		2 診	山本 吉蔵			山本 吉蔵	●鳥大医師 (診療:9時~)
		専門外来	人工関節 骨粗鬆症		人工関節	人工関節 骨粗鬆症	人工関節
	午後診	予約再来					
リハビリテーション科	午後診	中村 達彦					
産婦人科	午前診	石原 幸一	片桐 千恵子	●伊藤 隆志	片桐 千恵子	石原 幸一	
	専門外来	腫 瘍				腫 瘍	
	午後診	片桐 千恵子		●伊藤 隆志		石原 幸一	
泌尿器科	午前診 (受付:11時まで)		●鳥大医師 (診療:9時30分~)			●宮川 征男	
眼 科	午前診(受付:11時まで)	●小松 恵子	●鳥大医師	●小松 恵子	●小松 恵子	●小松 恵子	
麻酔科 (ハインククリニック)	午前診	堀 真也	〔 月曜日隔週、再来患者さんの診療のみ行います。〕				
	午後診	堀 真也	〔 詳しくはお問い合わせください。〕				
放射線科	午前診	中村 希代志	中村 希代志	交代医	中村 希代志	中村 希代志	
	午後診	中村 希代志	中村 希代志	交代医	中村 希代志	中村 希代志	
皮膚科	午後診				●鳥大医師(診療:14時~)		
ドック健診		前田 迪郎	前田 迪郎	前田 迪郎	前田 迪郎	前田 迪郎	
		●西村 興亜	工藤 浩史		工藤 浩史	●西村 興亜	

※内科、外科、整形外科の午後は原則、予約再来ですが、救急、紹介患者さんにつきましては従来通り対応しています。

●は非常勤医師です。各診療科とも、緊急手術等のため休診となる場合もございますので、事前にお電話等でご確認ください。

受付・診療時間	午 前	午 後	お問い合わせ
受付時間	8時00分～12時00分まで	14時30分～16時50分まで	〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880番地
診療時間	8時30分より	15時00分より	TEL 0859-29-1100(代)